



報道関係者各位

**三重塔をはじめ、庭園や建造物などをライトアップ。**

**中秋の名月が輝く下で、リュートの演奏と日本舞踊やジャズ、琴、琵琶などを鑑賞できる！**

## 『観月会』を開催します

**9月18日（土）～9月23日（木・祝） 20時30分まで入園できます**

横浜市が誇る名勝庭園「三溪園」（所在地：横浜市中区）では、2021年9月18日（土）から9月23日（木・祝）まで、開園時間を21時まで延長（最終入場は20時30分）して「観月会」を開催します。

夜空に輝く中秋の名月のもと、三重塔をはじめ庭園や建造物のライトアップと日替わりで開催する「リュートの演奏と日本舞踊」、「サクソとピアノ」、「箏曲」、「薩摩琵琶」、「和楽器のアンサンブル」とで情緒豊かな時間と空間を堪能していただけます。



### イベント概要

- 名称 『観月会』
- 日程 2021年9月18日（土）～9月23日（木・祝）
- 時間 ～ 21：00（20時30分まで入園できます）
- 会場 三溪園 外苑
- 演奏会場 旧燈明寺本堂
- 料金 無料  
（別途入園料が必要です。一部有料のイベントがあります。詳細決定次第、公式ホームページでお知らせします。）
- 音響協力 太陽倶楽部レコーディングス
- 共催 横浜みなとみらいホール（公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団）

※新型コロナウイルス感染の状況によっては変更になることがあります。最新の情報は公式ホームページ等でお知らせします。

## 三溪園でのお月見ポイント

### ① 和の情緒たっぷりのお月見を楽しむ

夜空に輝く中秋の名月のもと、古建築や庭園のライトアップによる、幻想的な和の風情たっぷりの景観を堪能できます。



### ② 重要文化財 旧燈明寺本堂で日本舞踊や楽曲演奏の上演

日替わりで開催。とくに今年初の上演となる「リュートの演奏と日本舞踊」は、横浜みなとみらいホールプロデュースによるものです。

※鑑賞席は一部有料で販売予定。詳細決定次第、公式ホームページでお知らせします。



**9月18日(土)・20日(月・祝) 19:00 ~ 20:15**

#### 和洋邂逅《リュートが奏でる、月下の舞》

曲目：「観月」に相応しい情緒豊かな楽曲を選曲、リュート演奏に創作日本舞踊が加わり「月と古き堂」の舞台で神秘的な風情を醸し出します。

出演：金子 浩 (リュート演奏) 藤間 翔央 (踊り手)  
藤間 恵都子 (日本舞踊振付)

共催：横浜みなとみらいホール (公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)



**9月19日(日) 18:15 ~ 20:15**

#### 箏曲

出演：琴美会 (ことみかい)

**9月21日(火) 18:20~18:50/19:00~19:30/19:40~20:10**

#### サクソとピアノで奏でる日本の唄~世界の唄

出演：シャンティドラゴン 金剛 督 (サクソ/こんごう すすむ)  
林 あけみ (ピアノ/はやし あけみ)

**9月22日(水) 18:15 ~ 20:15**

#### 薩摩琵琶

出演：薩摩琵琶錦心流中谷派襄水会  
(さつまびわきんしんりゅうなかたにはじょうすいかい)

**9月23日(木・祝) 18:15 ~ 20:15**

#### 横浜和楽器アンサンブル

出演：アトリエ箏こだま (あとリエ こと こだま)



### ③ 日中は初秋の園内をのんびり散策&三溪記念館で美術品の鑑賞

三溪園にある歴史的建造物の中で、三重塔と並ぶ代表的な建物が臨春閣です。江戸時代初期、紀州徳川家の別荘として築造されたといわれるこの建物は平成30年から重要文化財の保存修理工事で、その姿をご覧いただけませんでした。このほど、屋根の葺替え工事が終わり周囲の覆いが取れ、外観をご覧いただけるようになりました。手前の屋根は1年前に出来上がり、日光や風雨を受けて艶が出ていますが、覆いがかかっていた部分の屋根は木の色がそのままです。屋根は二層になっていて上段が「檜皮葺」下段が「こけら葺」になっています。通常屋根の葺替えは一気に仕上げしてしまうので、褪色による屋根の色の違いを同時にご覧いただくことはめったにありません。やがて同じような色に落ち着いてくるので、この色の違いを同時に見られるのは今だけ。

9月は萩や彼岸花が咲き、古建築に色どりを添えます。



三溪記念館では、第一展示室で「四季のうつろい一月」と題して、名所の月、冬の月、描かれていない月など月をテーマとした、原三溪、横山大観、下村観山による作品を紹介。また、第二展示室には「臨春閣 天楽の間一月と音楽」と題して、狩野安信「四季山水図」や豊臣秀吉の側室・淀君使用と伝えられている四弦琵琶なども展示。

今は工事中でご覧いただけない、臨春閣の室内や夜の眺めなどもパネルでご覧いただけます。



**三溪園での新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組について  
皆様が安心してご来園いただけるように、次の点に取り組んでまいります。**

- スタッフの検温、マスクの着用、手洗い・うがいの徹底
- 窓口スタッフとお客様との間に透明シート等の設置
- 施設内共用部分の清掃・消毒の強化

**ご来園の際は、次の点にご協力をお願いいたします。**

- 37.5℃以上の発熱や体調不良、風邪などの症状がある場合は来園をご遠慮いただきます。
- 入園時の手指アルコール消毒や手洗いの励行
- 入園時や、鑑賞・散策・休憩時など、他のお客様との間隔の確保
- マスクの着用や咳エチケット、その他周りのお客様へのご配慮
- 新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、お願いする事項が増えることがあります。



### 三溪園と原三溪について

三溪園は生糸貿易により財を成した実業家で茶人の 原三溪（1868～1939）によってつくられた、庭園・建築・美術が一体となった日本でも類を見ない近代日本庭園です。175,000㎡に及ぶ園内には、歴史的に価値の高い建造物が移築され、約20年をかけて三溪自らの構想により巧みに配置されました。古建築17棟のうち、10棟が重要文化財、3棟が横浜市指定有形文化財の指定を受けているほか、また2007（平成19）年には庭園全域が国の名勝に指定されました。1906（明治39）年5月から園内を市民に無料開放されるなど、当初から市民の憩いの場となっています。

三溪は、実業家のほかに芸術家、美術収集家としても知られ、若手芸術家の支援・育成をおこなっていました。「三溪記念館」には現在も貴重なゆかりの美術品が残されています。また2021年4月放送開始の大河ドラマで取り上げられる渋沢栄一（1840～1931）と交流をもった記録もあります。一方で、関東大震災後は横浜市復興会長に就任し、荒廃した横浜の復興にも尽力しました。

### 施設概要

- 施設名 三溪園（さんけいえん）
- 運営 公益財団法人三溪園保勝会
- 所在地 〒231-0824 神奈川県横浜市中区本牧三之谷 58-1
- 連絡先 TEL 045-621-0635 FAX 045-621-6343
- 公式HP <https://www.sankeien.or.jp>
- 公式SNS Instagram @sankeien\_garden
- 入園料 大人 700円 小中学生 200円 横浜市内在住の65歳以上 200円（濱ともカードの提示が必要）
- 開園時間 9:00～17:00（最終入園 16:30）
- 交通アクセス

JR 根岸線根岸駅から市営バスで10分「本牧」下車、徒歩10分

横浜駅東口から市営バスで35分「三溪園入口」下車、徒歩5分

### 本リリースに関する報道関係者からのお問合せ

公益財団法人三溪園保勝会 事業課 広報担当：岩本

TEL：045-621-0635 / FAX：045-621-6343 / iwamoto@sankeien.or.jp